

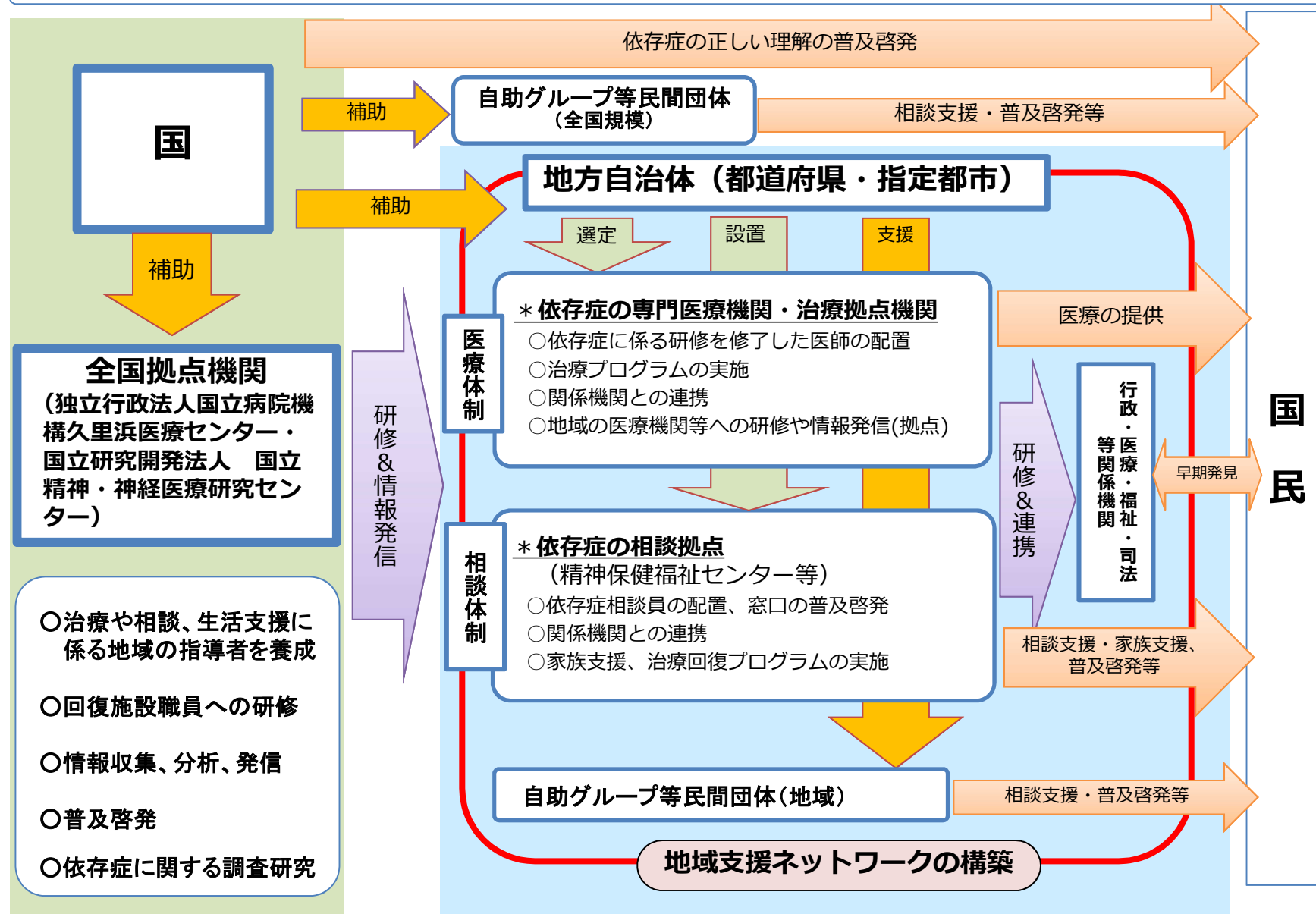
厚生労働省の依存症対策について

厚生労働省
障害保健福祉部精神・障害保健課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

依存症対策の全体像

○依存症対策（アルコール・薬物・ギャンブル等）については、各地域における支援ネットワーク構築、全国拠点機関による人材育成・情報発信や、依存症の正しい理解の普及啓発などを総合的に推進。



依存症対策総合支援事業（実施主体：都道府県・指定都市）

【趣旨】

都道府県及び指定都市において、関係機関（医療機関や精神保健福祉センター、保健所、市町村、民間団体・回復施設、保護観察所等）が相互に有効かつ緊密に連携し、その責任、機能又は役割に応じた包括的な支援を提供することで、依存症患者やその家族等の地域におけるニーズに総合的に対応することを目的とする。

【事業の概要】

- （１）地域支援体制の構築
 - ・医療提供体制、相談支援体制、地域支援計画
- （２）地域の関係機関による連携会議
- （３）相談支援
- （４）人材養成
 - ・相談対応職員、医療従事者、地域生活支援者への研修
- （５）普及啓発・情報提供
- （６）依存症の治療・回復支援
 - ・SMARPPをはじめとした集団治療回復プログラムの実施
- （７）家族支援
- （８）受診後の患者支援に係るモデル事業
- （９）地域連携等による依存症早期発見・早期対応、継続支援モデル事業

薬物依存症対策の取組について

1. 地域における相談体制・医療体制の構築

- ・ 都道府県・指定都市において、相談拠点・専門医療機関を整備

	平成30年4月	令和元年度末	令和2年度末
相談拠点	19自治体	46自治体	62自治体
専門医療機関	10自治体	39自治体	49自治体

2. 薬物依存症関連の人材育成

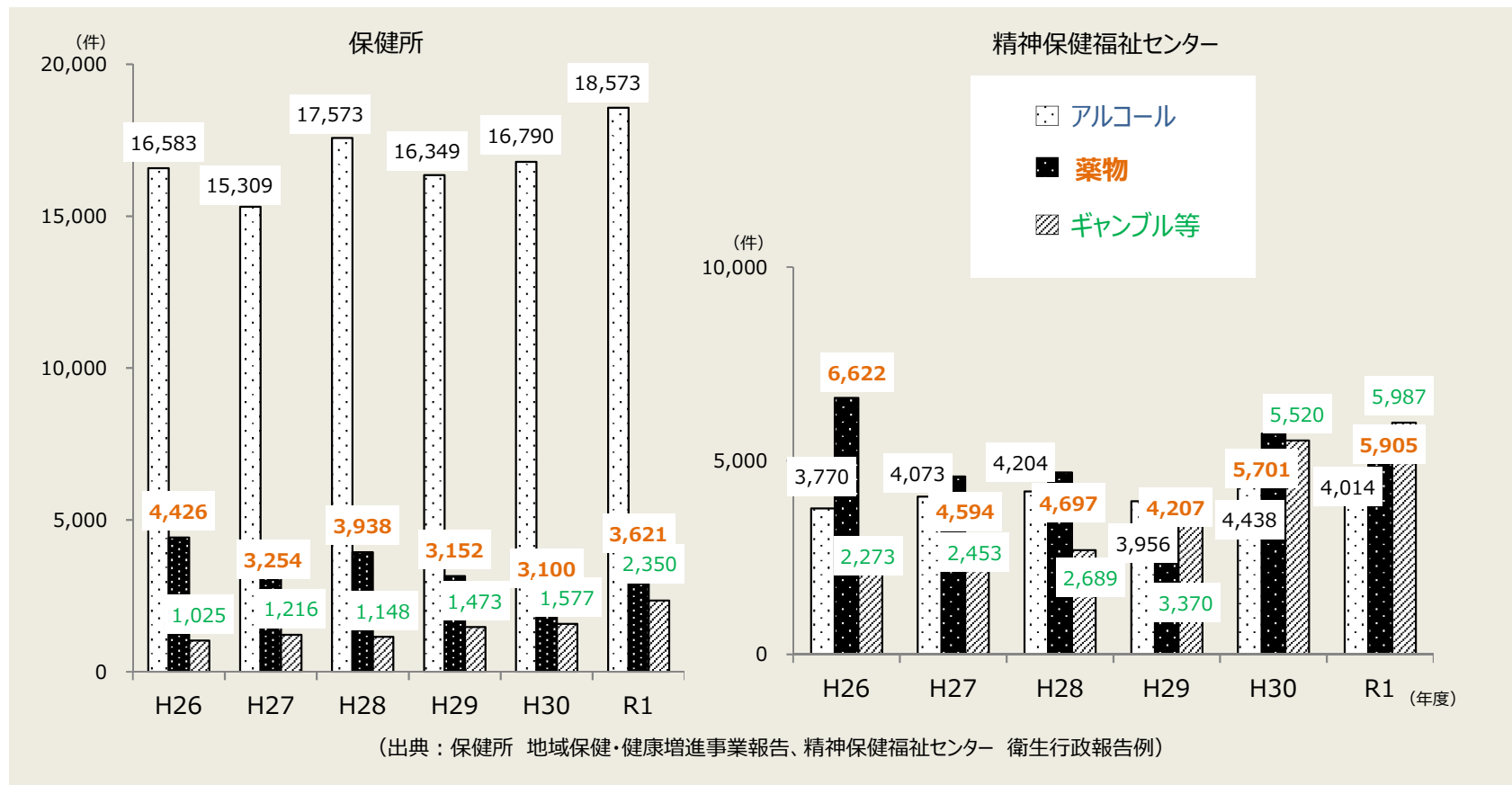
【全国拠点機関（国立精神・神経医療研究センター）】

- ・ 治療・相談対応指導者の養成研修、ダルク等回復施設職員向け研修等を実施

【都道府県・指定都市】

- ・ 上記の指導者研修の修了者等を活用し、医療従事者・相談員向け研修等を実施

保健所及び精神保健福祉センターにおける相談件数



近年の依存症患者数の推移（NDB）

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
アルコール 依存症	外来患者数 (入院患者数)	92,054 (25,548)	94,217 (25,654)	95,579 (25,606)	102,148 (27,802)
薬物依存症	外来患者数 (入院患者数)	6,636 (1,689)	6,321 (1,437)	6,458 (1,431)	10,746 (2,416)
ギャンブル 等依存症	外来患者数 (入院患者数)	2,019 (205)	2,652 (243)	2,929 (261)	3,499 (280)

※外来：1回以上、精神科を受診した者の数

※入院：依存症を理由に精神病床に入院している者の数

※1年間に外来受診と精神病床入院の両方に該当した同一患者は、上記の外来と入院の両方の数に計上

※出典：精神保健福祉資料：<https://www.ncnp.go.jp/nimh/seisaku/data/>

都道府県ごとのデータも把握可能。

依存症対策ポータルサイト内 相談窓口・医療機関検索マップ

アルコール・薬物依存症・ギャンブル等依存症
依存症対策全国センター
National Center for Addiction Services Administration

ホーム

気づく

理解したい

気づいたらどうする?

相談・治療

海外の動き

支援者の情報へ

資料

トピックス

ホーム / 気づいたらどうする? / 全国の相談窓口・医療機関を探す

全国の相談窓口・医療機関を探す

全国の依存症専門相談窓口と医療機関が検索できます（複数選択可）。
登録されている窓口及び医療機関は厚生労働省の定めた基準を満たした施設です。依存症専門医療機関の選定基準についてはこちらをご覧ください。

現在位置を表示

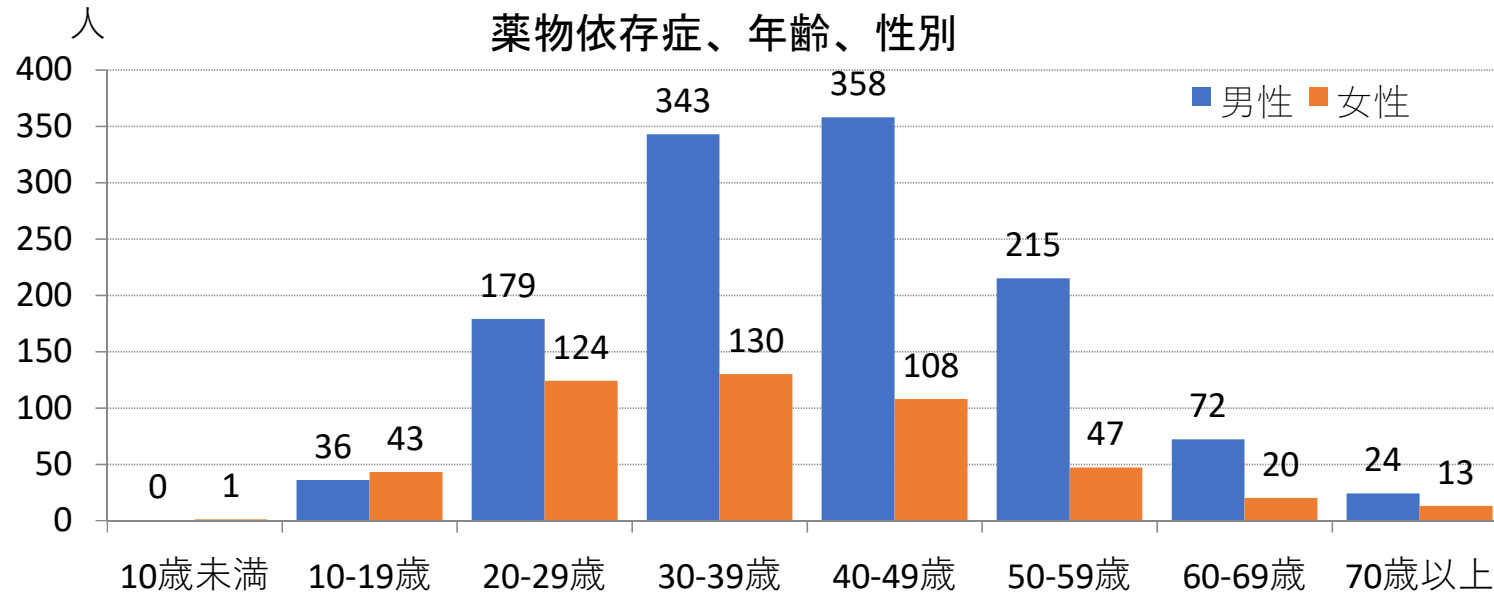


● 専門医療機関
 ● 専門相談窓口
 ● 依存症一般に関する相談（※）

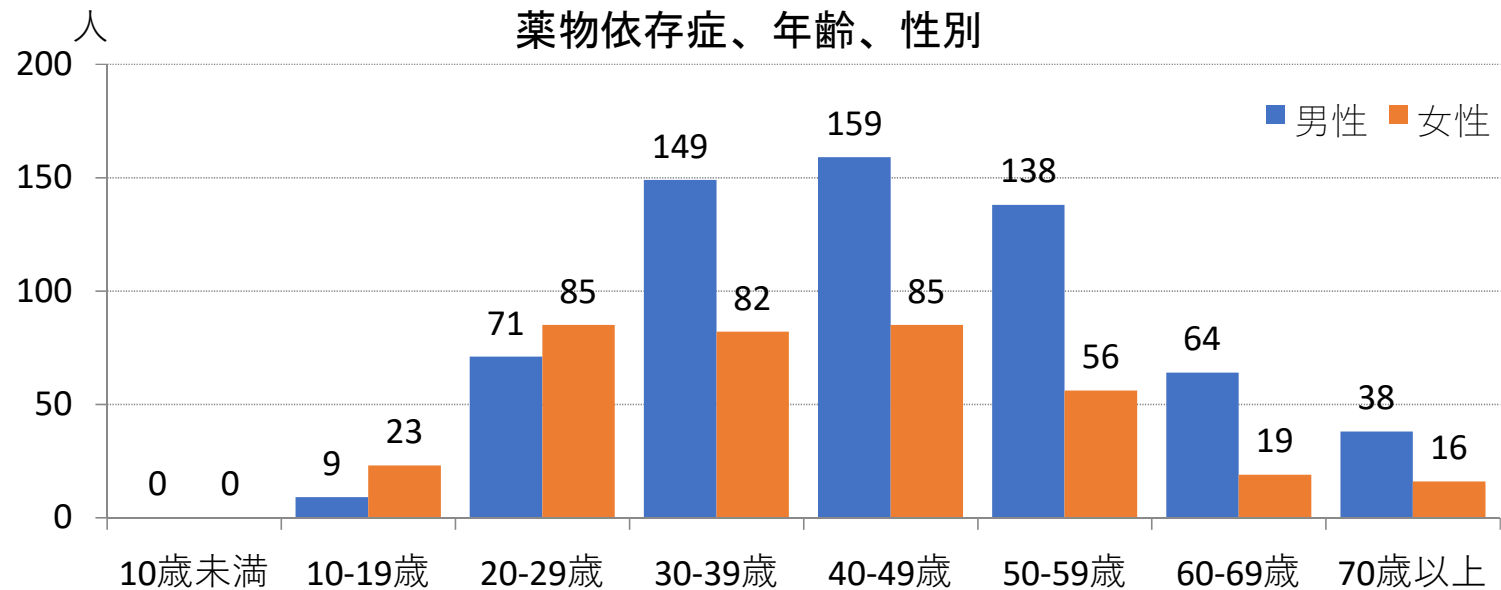
医療機関

病院名	住所	電話番号	WEB	アルコール 健康障害	薬物依存症	ギャンブル 等依存
独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター	神奈川県 横浜市中区野比 5-3-1	046-848-1550		○		○
医療法人財団青山会 みく るべ病院	神奈川県 秦野市三遊町948 番地	0463-88-0266		○	○	
地方独立行政法人神奈川県 立病院機構 神奈川県立精 神医療センター	神奈川県 横浜市中区戸部 2-5-1	045-822-0241		○	○	○
医療法人社団祐和会 大石 クリニック	神奈川県 横浜市中区寿生 町4-41 大石第一ビル	045-262-0014		○	○	○
医療法人誠心会 神奈川病 院	神奈川県 横浜市中区川井 木町122-1	045-951-9911		○		
学校法人北里研究所 北里	神奈川県 相模原市南区麻 生台1-1-1	042-748-9111		○	○	○

【2020年度】依存症専門医療機関における新規受診患者数



【2020年度】依存症専門医療機関における入院患者数



3.治療回復プログラムの普及、診療報酬での評価

- ・ 精神保健福祉センター等において、SMARPP（薬物依存症者に対する、標準化された集団認知行動療法プログラム）等の集団治療回復プログラムの普及・実践
- ・ 医療機関において適正に実施された薬物依存症集団療法の診療報酬上の評価

SMARPP（せりがやメタンフェタミン再乱用防止プログラム）

○薬物依存症に対する、標準化された集団認知行動療法プログラム

- * 認知行動療法とは、物事の受け取り方や考え方のバランスをとり、ストレス等にうまく対応できるようにする精神療法。
- * せりがや病院（現神奈川県立医療センター）にて開発され、平成18年より運用されている。

（方法）

- ・ あらかじめ定められたワークブックや他の参加者との意見交換を通じ、薬物等に対する誤った知識や考えを改めたり、薬物等の使用に替わるストレス克服等の手段を見つけることを支援する。
- ・ 10－20人の集団に対し、1回90分程度のプログラムを週1回行う。（1クール16回又は24回）

診療報酬による評価（H28年度～）

- 薬物依存症の患者に対し、標準化された方法で実施する集団療法の評価をする。

依存症集団療法 340点（1回につき）

[算定要件]

医師又は医師の指示を受けた看護師・作業療法士・精神保健福祉士若しくは公認心理師で構成される2人以上の従事者が認知行動療法の手法を用いて、薬物の使用を患者自らコントロールする手法等の習得を図るための指導を行った場合に算定する。

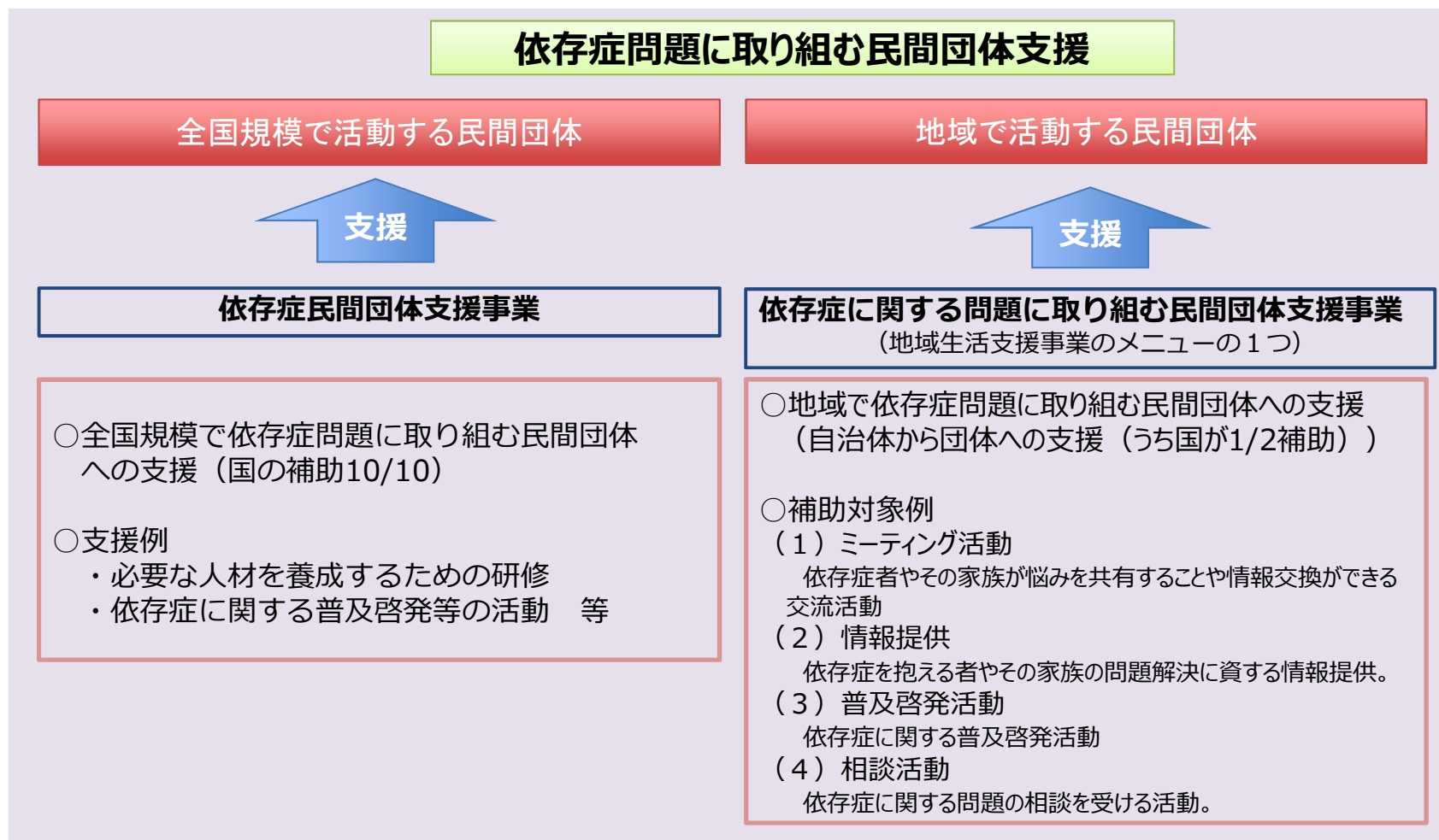
（注：薬物依存症の患者であって、入院中の患者以外のものに対して、集団療法を実施した場合に、治療開始日から起算して6月を限度として、週1回に限り算定する。ただし、精神科の医師が特に必要性を認め、治療開始日から起算して6月を超えて実施した場合には、治療開始日から起算して2年を限度として、更に週1回かつ計24回に限り算定できる。）

4. 依存症患者の家族支援

- ・ 精神保健福祉センター等において、家族に対する心理教育プログラムや家族会等を実施

5. 自助グループ等民間団体への支援

- ・ 地域や全国規模で薬物依存症の問題に取り組む民間団体の活動を支援



6. 依存症に関する普及啓発

- アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症は、適切な治療とその後の支援によって、回復可能な疾患。
- その一方で、依存症に関する正しい知識と理解が得られていない上、依存症への偏見、差別もあり、依存症の方やその家族が適切な治療や支援に結びついていないという課題がある。
- こうした課題の解決に向けての取組として、イベントやSNSをはじめとする各種媒体で情報発信を進める。

① 特設WEBサイト、SNSを活用した情報発信

◆ 特設WEBサイト(<https://www.izonsho.mhlw.go.jp/index.html>) を開設し、イベント開催、マンガ、動画等により依存症に関する正しい知識を啓発。

Twitter : 依存症なび(<https://twitter.com/izonshonavi>)



■ 依存症啓発漫画

漫画家の三森みささん、菊池真理子さん作の、依存症をテーマにした啓発内容の漫画を掲載しています。



②依存症の理解を深めるための普及啓発イベント

2018年度 街頭イベント・会場ライブ（東京都、愛知県、大阪府）

出演者：依存症理解啓発サポーター 前園真聖（元サッカー選手）

濱口優（よゐこ）、大森靖子（歌手）松本俊彦（N C N P）、田中紀子（公社ギャンブル依存症問題を考える会）他

2019年度 街頭イベント・会場ライブ（宮城県、東京都、福岡県）

出演者：依存症理解啓発サポーター 古坂大魔王（芸人）

神宿（原宿発アイドル）、高知東生（俳優）、森重樹一（ZIGGY）、杉田あきひろ（第9代目うたのおにいさん）

松本俊彦（N C N P）、田中紀子（公社ギャンブル依存症問題を考える会）他

2020年度 ラジオ（FM北海道／FM石川／Kiss FM KOBE）、テレビ（BS朝日）

出演者：依存症理解啓発サポーター 今田耕司（芸人）

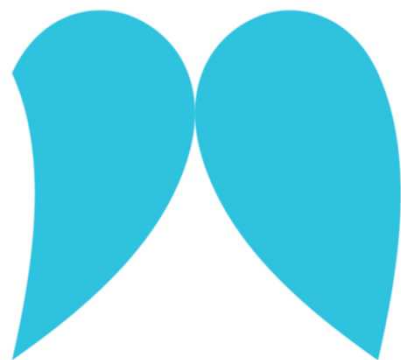
（ラジオ）尼神インター渚（芸人）、松本俊彦（N C N P）、田中紀子（公社ギャンブル依存症問題を考える会）

（テレビ）青木さやか（芸人）、松本俊彦（N C N P）

③アウェアネスシンボルマークの作成

・依存症の普及啓発に関するアウェアネスシンボルマークを2021年2月に作成・公表。

・今後、依存症に対する治療・回復への応援の意思を表明する象徴として広く展開。



<デザインされたグラフィックデザイナー 佐藤卓さんのコメント>

一見すると蝶に見えるこのシンボルマークは、横に繋げるとハートが現れます。繋がることによって、ハートが次々に現れるマークです。依存症の方の自立を促すために、あからさまに優しさ表現するのではなく、優しさが見えないところで支えているというマークです。この考え方にに基づき、色もあえて暖かい色にするのではなく、爽やかで明るい空色にしました。この蝶のマークが、みんなで依存症を考える活動の象徴として、広く社会に羽ばたいていくことを願っています。



(参考)

※依存症を理解するためのリーフレット①

「依存症」って どんなイメージ？

意志の
弱い人が
なるもの？

だらしない？

本人は
やめる気が
ない？

一生治らない？

それは
誤解です。
依存症は誰でも
なりうる
病気です。

正しい理解を深めましょう！

中巻へGO!

周りに「依存症かも」 という人がいたら…

依存症は、脳の機能が弱くなり欲求をコントロールできなくなる「病気」ですが、本人は自覚がなく気づきにくいので、自分の意思でコントロールしようとしても度々失敗します。そのため、周囲がいくら本人を責めても、問題は解決せず、むしろ「叱責」、「処罰」、「世間の異代わり」などは状況を悪化させてしまいます。

本人が回復の必要性を自覚するまでには時間がかかることから、まずは、周囲の方が専門の機関に相談して、「適切なサポート」のしかたを知ることから始めましょう。

相談窓口等はこちら

依存症は、誰でもなりうる病気であり、決して恥ずかしいものではありません。病気を開くことは解決を遅くしますので、本人や家族だけで抱え込まず、専門の機関に相談しましょう。

地域の相談窓口

依存症に関するご本人や家族からの相談や悩みを受け付けています。詳細はお住まいの都道府県・市町村のホームページを検索して下さい。

●全国の保健所・精神保健福祉センター

民間団体(自助グループ・支援団体)

自助グループでは、依存症本人または家族同士が体験を共有しながら、回復を目指します。支援団体では相談を受けています。詳細はホームページを検索して下さい。

●アルコール依存症		
- (公社)全日本酒造連盟【当事者・家族】	03-3863-1600	
- AA【アルコール・匿名性】【当事者】	03-5680-5377	
- アラノン【家族・友人】	03-5483-3313	
- 家族の回復ステップ12【家族・友人】	090-5150-6773	
●薬物依存症		
- (NPO)全国薬物依存症者支援会連合会	03-5856-4824	
- AA【アルコール・匿名性】【当事者】	03-3907-6869	
- アラノン【家族・友人】	03-5483-3313	
●ギャンブル依存症		
- (公社)ギャンブル依存症者支援会	03-3525-1725	
- (NPO)全国ギャンブル依存症者支援会	090-1404-3327	
- GA【ギャンブル・匿名性】【当事者】	046-240-7279	
- アラノン【家族・友人】	03-6039-4879	

わかってる のに やめられない ～それって依存症かも～



中巻に続く

厚生労働省
厚労省
厚生労働省

※依存症を理解するためのリーフレット②

つづき

僕たちは君を大切に思っているよ

知ってほしい
依存症のこと

依存症について学んでいこう

「依存症」って？

Q 依存症って何？

「依存」する対象は様々ですが、特定の物質や行為を「**やめたくても、やめられない**」状態を、「依存症」といいます。依存症になると、本人や家族が苦痛を感じたり、生活に困ることが生じたりすることがあります。

代表例
●アルコール ●薬物 ●ギャンブル等

※医学的定義では、ある特定の「物質の使用」に關して「やめたくても、やめられない」状態を依存症と呼びますが、本リーフレットでは「行為」に關するそのような状態も含めて「依存症」と表現しています。

Q 原因は？

人は、不安や緊張を和らげたり、嫌なことを忘れたりするために、ある特定の行為をすることがあります。それを繰り返しているうちに**特定の行動をコントロールする脳の機能が弱くなり、自分の意思ではやめられない状態**になってしまいます。

Q なりやすい人はいるの？

いろいろな病気と同じように、**誰でもなる可能性があります**。「根性がない」とか「意志が弱い」からではありません。

Q どんなことが起きるの？

飲酒や薬物使用、ギャンブルなどの行為を優先し、他の活動がおろそかになっていきます。その結果、**自分や家族の健全な社会生活に悪影響を及ぼす可能性**があります。

悪影響の例

- 睡眠や食事がおろそかになる。
- 嘘をついて、家族との関係を悪化させる。
- 仕事や学校を休みがちになる。
- 借れて借金をしたり、お金を工面するために手段を選ばなくなる。

Q なおるの？

様々な助けや理解により、「**飲酒や薬物使用、ギャンブルなどに頼らない生き方**」をしていくことができます。依存症は回復が十分可能な病気です。そのためには、しっかりと対応することが大切です。

相談へGO!